

農学部  
応用生物科学科2年

## 林 和馬

小豆島中山地区の棚田は、全国棚田百選に選ばれており耕作以外でも文化的景観として注目されています。しかし近年、住民の高齢化により放棄地が増加しているため景観の保全が大きな課題となっています。私たちはSUIJIや昨年度の棚田保全活動の中で、中山の人と関わり「私たちにも協力できることは何だろうか」と考えこのプロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトは耕作放棄地を使って自ら棚田での稲作に携わり、その経験や小豆島の良さを様々な人に伝えることで、

小豆島、中山地区棚田の保全の文化振興を目指しています。

主な活動内容は、水路掃除、代掻き、田植え、収穫などの直接耕作に関わる活動のほかに、より地域を知るために地域の伝統行事である虫送り、農村歌舞伎に参加したりしています。

また、大学の収穫祭で、収穫した棚田米をつかって餅、赤飯をつくって配りその際に中山地区の棚田の宣伝をしています。



農村歌舞伎に出演する富田さんと中島さん

農学部  
応用生物科学科2年

## 中西利樹

私は2年生になり、「棚田の会」での活動を一年間行いました。活動中はみんなで楽しく談笑しながら農作業をしたり地元の農家とも交流を深めたり、時には中山の伝統的文化や農業の知識、技術を教えてもらったりしました。そして、活動を通じて自然と文化の歴史が残された小豆島中山と快く迎えてくれる人々を知り、私は中山をより多くの人々にも知ってもらい訪れてほしいと思いました。私が得におすすめしたいところは中山の景色です。棚田が並ぶ坂を上り、そこから見下ろす

景色はとても素晴らしく、私は作業の合間にも景観を楽しんでいます。私たちは「棚田の会」としてこの活動を数年間行ったことで地元の方々からも信頼を得て、今年度は例年よりも大きな棚田の区画をまかせていただけるようになりました。また、三木町でのイベントに参加をさせていただき、小豆島中山以外での活動も広がってきています。最後に、小豆島では年間を通じてイベントが行われています。小豆島を訪れた際はぜひ中山にも足を運んでみてください。



### 学生支援プロジェクト 棚田発！ 日本のこころの プロジェクト

「虫送り」  
約300年前から伝わる中山地区の伝統行事。半夏生（夏至から11日目）の日、竹の松明を持ち「とーもせ、灯せ。」の声をかけながら、棚田の畦道を歩き、害虫を退治して豊作を願います。

### EVENT PHOTO

学生団体「KAGAWA Maker」と  
県内菓子店コラボで新商品販売会 6/17



県産品を使った商品開発に取り組む KAGAWA Maker。県内菓子店との共同開発第一弾は、県産茶を用いた生地に県産のレモン、オリーブなどを組み合わせたクッキーのセット。瓦町駅で販売、無事完売しました。

第22回神原文庫資料展 6/29-  
神原甚造コレクションの歴史的位置 7/13



明治～昭和初期にかけての様々な収集家の歴史的役割を見極めたいうえで、初代学長・神原甚造氏が収集した資料、蔵書コレクションの中から、代表的な資料が展示紹介されました。写真は「THE MOMOTARO」、布製の豪華版です。

キャンベラ大学の教員と学生が  
工学部を訪問 7/3-4



日本の建築文化を学ぶために、オーストラリアのキャンベラ大学からチャールズ・ラムカート教授をはじめ、同大学の大学院生、学部生が工学部を訪れ、両大学の研究内容を発表するワークショップが開催されました。

東京大学医学部附属病院事務部長 塩崎英司氏による  
病院経営に係る講演会 7/4



講演では、香川県内の病院との比較、富山大、福井大、宮崎大、東京大等の事例をもとに、医学部附属病院における地域医療構想を踏まえた大学病院としての立ち位置・経営戦略等の方向性を決めることの重要性が強調されました。